

社会

社会科主任 猪野一洋

入学後の授業につながる入試問題

- **基本的な用語を中心に出題**
⇒授業で制度の趣旨とか出来事の原因や背景などを学ぶための前提
- **時事問題を出題**
⇒世の中の動きにも関心をもつ
- **論述式問題を出題**
⇒意見を述べる力や説明する力を試す

大問1(地理的分野)では

地図、表、グラフを読み取る問題

がいつも出ています。

- 地形図の問題では、方位、地図記号、距離の計算などが出ています。
- 時事問題、日本の地理、世界の地理は毎年のように出ています。

毎年のことなのですが…

- 出題者のそばにあったのは・・・

『日本国勢図会』

『日本のすがた』

(国勢図会ジュニア版)です。

大問2(歴史的分野)では

中学受験用の問題集

に出ている頻出事項

A入試

桓武天皇、応仁の乱、徳川家光、吉田松陰、八幡製鉄所 ほか

B入試

ザビエル、老中、五・一五事件、東大寺、征夷大將軍、枕草子、国学、唐招提寺、源頼朝 ほか

C入試

奴国王、卑弥呼、仏教、小野妹子、足利義満、鉄砲、岩倉具視、国際連盟、大韓民国 ほか

流れに注目(年表を参考に)

今年のA入試

問3 平安時代の出来事

坂上田村麻呂の蝦夷征討 → 摂関政治 → 院政 → 源平の合戦

◎出来事の移り変わりに注目しましょう。

なぜ？を考えながら教科書を読みましょう。

東京書籍『新しい社会 6 上』
116～117ページ

「条約改正をめざして

江戸時代の終わりに幕府が欧米諸国と結んだ「修好通商条約」は、日本にとってたいへん不利な内容でした。…明治の初めころから使節を送るなど、何度も諸外国との交渉を行いました。日本の近代化のおくれなどを理由に、条約改正はなかなか進みませんでした。…」

幕府が不利な条約を結んだのはなぜ？

“近代化が遅れている”って
どういうこと？

どんな点が不利？

大問3(公民的分野)は

時事問題が注目されますが、

憲法の条文も

読んでおいて欲しいです。

「どうせ、改正されるでしょ！」とか

「改正されるのなら、覚えてもムダじゃないの？」とか言わずに…。

(しかも、まだ改正されていませんし…)

こんなに出題しています！

昨年のC入試

日本国憲法第96条

この憲法の改正は、各議員の〔A〕の〔B〕分の〔C〕以上の賛成で、国会が、これを発議し、国民に提案してその承認を経なければならない。この承認には、特別の国民投票又は国会の定める選挙の際行はれる投票において、その〔D〕の賛成を必要とする。

憲法改正について前項の承認を経たときは、〔E〕は、国民の名で、この憲法と一体を成すものとして、直ちにこれを公布する。

解答

A 総議員 B 三 C 二 D 過半数 E 天皇

どうせ、暗記なんでしょ…？

憲法に書いてあることを確かめているだけの問題ですか…。

大切なことはみんな憲法に書かれています。
憲法というのは、国と個人との約束ことです。

→では、何を約束したのでしょうか。
(ここ、重要です!!)

出せる分野が限られています。

- だから、つくるのはつらいのです！
- 憲法の歴史、人権、選挙、国会、内閣、裁判所、地方自治、国際政治(国際連合)、環境問題、社会保障
- …地理・歴史よりも、出題できる分野が限られています。
- だから、過去問と似た問題が、よく出ます。
- 出題分野の予測もできます。

論述式問題も出しています。

説明する問題や読み取った結果を記述する問題だけでなく、**答えが一つではない問題**も出したいと思っています。

昨年度のA入試

問2(2)

もしあなたが首都圏から大蔵村に移住するとしたら、どのような行政サービスがあれば移住を考えますか。大蔵村の立場もふまえて答えなさい。

【プレゼント】これまでに出版した時事問題のテーマ一覧を添ってみました。

年度	キーワード	
2020	A 世界遺産	地方活性化
	B 国際関係(組織・条約)	
	C 身近な地域	国際関係(日米・EU)
2019	A 民法改正(成年年齢変更)	公職選挙法改正(参議院議員定数増加)
	B 戦争と人権	
	C 高齢化	労働者の権利
2018	A 水糧に関する水俣条約	
	B SNS	TPP
	C パリ協定	イギリスのEU離脱
2017	A UNHCR	
	B 高齢化	
	C 移民	参議院議員選挙
2016	A 伊勢志摩サミット	18歳選挙権
	B 北條新幹線	人工知能AI
	C TPP交渉	ナバル地震

実際の入試問題について

2020年度 入学試験問題

社会 B

注 意 事 項

1. 試験開始の時刻は必ず守り、この時間厳守で入室してください。
2. 試験開始の時刻は必ず守ります。
3. 試験終了の時刻は必ず守ります。
4. 試験終了の時刻は必ず守ります。
5. 試験終了の時刻は必ず守ります。

※ 問題冊子はA4サイズ

11) 本邦主要都市の人口増加率(%)を比較し、最も人口増加率が高い都市を答えよ。

都市	人口増加率(%)
東京	0.1
大阪	0.2
名古屋	0.3
福岡	0.4
札幌	0.5
仙台	0.6
広島	0.7
岡山	0.8
京都	0.9
神戸	1.0
北九州	1.1
新潟	1.2
金沢	1.3
仙台	1.4
札幌	1.5
旭川	1.6
帯広	1.7
旭川	1.8
旭川	1.9
旭川	2.0

P 1 ~ 2
地理

12) 本邦主要都市の人口増加率(%)を比較し、最も人口増加率が高い都市を答えよ。

都市	人口増加率(%)
東京	0.1
大阪	0.2
名古屋	0.3
福岡	0.4
札幌	0.5
仙台	0.6
広島	0.7
岡山	0.8
京都	0.9
神戸	1.0
北九州	1.1
新潟	1.2
金沢	1.3
仙台	1.4
札幌	1.5
旭川	1.6
帯広	1.7
旭川	1.8
旭川	1.9
旭川	2.0

P 3 ~ 4
歴史

13) 本邦主要都市の人口増加率(%)を比較し、最も人口増加率が高い都市を答えよ。

都市	人口増加率(%)
東京	0.1
大阪	0.2
名古屋	0.3
福岡	0.4
札幌	0.5
仙台	0.6
広島	0.7
岡山	0.8
京都	0.9
神戸	1.0
北九州	1.1
新潟	1.2
金沢	1.3
仙台	1.4
札幌	1.5
旭川	1.6
帯広	1.7
旭川	1.8
旭川	1.9
旭川	2.0

P 5 ~ 6
公民

14) 本邦主要都市の人口増加率(%)を比較し、最も人口増加率が高い都市を答えよ。

都市	人口増加率(%)
東京	0.1
大阪	0.2
名古屋	0.3
福岡	0.4
札幌	0.5
仙台	0.6
広島	0.7
岡山	0.8
京都	0.9
神戸	1.0
北九州	1.1
新潟	1.2
金沢	1.3
仙台	1.4
札幌	1.5
旭川	1.6
帯広	1.7
旭川	1.8
旭川	1.9
旭川	2.0

※ 解答用紙はB4サイズ

問8 下線部①の説明として、正しいものをア～エより1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 天皇に代わって政治をおこなう職。
- イ 将軍をたすける職。
- ウ 軍事や警察の自事に当たる職。
- エ 土地の管理や税の取り立てにあたる職。

問13 下線部②についての説明として、誤っているものをア～エより1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 江戸時代の終わりに頃、武士の娘として江戸に生まれた。
- イ 岩倉使節団に同行し、アメリカに留学した。
- ウ 女子英学塾という学校をつくるなど、女子教育につくした。
- エ 自由民権運動に参加し、女性の地位向上をうたった。

問4 下線部③について、1951年（昭和26年）、サンフランシスコ平和条約の調印直後に調印され、1960年（昭和35年）1月に改定された条約の名前を答えなさい。

問5 下線部④の権利を何というか、漢字6文字で答えなさい。

問6 下線部⑤について、原議で決定したいのに最後まで反対する国務大臣がいるときには、内閣総

*** 指定の通りに解答しましょう**

社会

2021年度入試のねらいと出題方針

出題方針

- 1、入学後に社会科を学んでいくときに知っておいてほしい、基本的な知識を確認します。
- 2、新聞の一面で取り上げられるような出来事をはじめ、日本や世界の諸事象に関心を向けているかどうかを試す問題も、時事問題として出題します。
- 3、出来事の原因・背景や制度の趣旨に目を向けるという、社会科を学ぶときに必要な力も測定します。

具体的な作問の方針(問題構成)

- 1、知識に関する問題は、小学校の教科書や中学受験用のテキストに出ている事項を中心に据えます。
- 2、全ての問題に目を通すことができるように、時間に余裕を持って読める長さの問題文にしています。
- 3、**1**地理 **2**歴史 **3**公民の順に配列してあります。
- 4、空らんに入る用語を答える問題、下線部の語句について答える問題という形式がほとんどです。1行程度の文章で答える問題も3～6問出題します。
- 5、地形図、グラフ、年表などから読み取る問題も出題します。
- 6、内容に関しては、基本的な用語や年号を確認する問題がほとんどです。
- 7、時事問題を直接的に問う問題は、**1**地理や**3**公民で出題します。

解答を進める上でのアドバイス

- 1、**1**から順番に解く必要はありません。普段の学習で得意としている分野から解くようにしてください。
- 2、難易度順に配列してあるわけではありませんので、分からない小問はとばして全ての問題に取り組むことを目標にしてください。

採点基準と配点について

- 1、配点は歴史に重点を置きます。
- 2、漢字で答えるよう指定してある問題にひらがなやカタカナで答えた場合は、不正解とします。
- 3、短い文章で答える問題では、中心となる用語の誤記は減点しますが、それ以外の言葉はひらがなで書いてあっても減点しません。
- 4、例えば『〔 **1** 〕権』という空らんに解答する際に、『〔行政権〕権』と言葉を重複して解答してしまった場合は、減点します。

2020年度入試採点結果の分析

A入試

地理 **1** では桜島(鹿児島県)の地形図の読み取りを中心に据えました。歴史 **2** では世界遺産をテーマとした文で、それに関連する事柄を中心に据えました。公民 **3** では地方自治についての基本的な問題を出題しました。

得点率(任意抽出した100通の答案に基づいたものです)

- 1** 問1 : (1) 79% (2) 35% (3) 80% 問2 : (1) 85% (2) 76% (3) 62% (4) 26% 問3 : 62% 問4 : 70% 問5 : (1) 72% (2) 68% (3) 26%
部分点 21% **1**全体 : 61%

- ② 問1 : A56% B87% C84% D16% E76% 問2 : 47% 問3 : 31% 問4 : 61% 問5 : 19% 問6 : 78% 問7 : 77% 問8 : (1) 65% (2) 47% 問9 : 72% 問10 : 92% ②全体 : 59%
- ③ 問1 : 58% 問2 : (1) 40% (2) 22% 部分点 5% 問3 : (記号) 64% (理由) 28% 部分点 5% 問4 : 33% 部分点 11% 問5 : 38% 問6 : 30% 部分点 51% 問7 : 42% ③全体 : 42%

B入試

地理 ①) では日本と世界の関わりについての問いとして、時事問題を中心に出题しました。歴史 ②) では歴史上の人物をテーマとした文で、関連する基本的な歴史用語やその理解を中心に出题しました。公民 ③) では時事的な事象から地理・歴史の内容に関連する内容を横断的に問う出题としました。

得点率 (任意抽出した 100 通の答案に基づいたものです)

- ① 問1 : 22% 問2 : 82% 問3 : 88% 問4 : (1) 67% 部分点 14% (2) 76% (3) 83% (4) 66% 部分点 0% 問5 : (1) B94% 国名 92% E80% 国名 92% ①全体 : 74%
- ② 問1 : A39% B75% C46% D85% E59% F65% G48% H46% I72% 問2 : I85% II78% III89% 問3 : 81% 問4 : 97% 問5 : 10% 部分点 37% ②全体 : 62%
- ③ 問1 : 91% 問2 : 27% 問3 : (1) 45% 部分点 1% (2) 11% 部分点 86% 問4 : (1) 85% (2) 12% 部分点 17% 問5 : (1) 54% (2) 71% 問6 : (1) 21% (2) 12% ③全体 : 47%

C入試

地理 ①) では本校が所在する港区の自然や産業について出题しました。歴史 ②) ではますますグローバル化が進んでいる現状を踏まえ、年表形式で対外関係史について出题しました。公民 ③) では基本的な内容を問う問題とニュース等の内容を正確にとらえて考える問題を出题しました。

得点率 (任意抽出した 100 通の答案に基づいたものです)

- ① 問1 : (1) 16% 部分点 1% (2) 62% 部分点 22% (3) 35% 問2 : (1) 83% (2) 35% (3) 86% (4) 73% (5) 78% 問3 : (1) 85% (2) 78% (3) 92% (4) 52% ①全体 : 61%
- ② 問1 : A23% B74% C76% D93% E51% F78% G51% H75% I43% 問2 : 89% 問3 : 45% 問4 : 63% 部分点 14% 問5 : 84% 問6 : 30% 問7 : 34% ②全体 : 62%
- ③ 問1 : 84% 問2 : 42% 問3 : 4% 部分点 1% 問4 : 36% 問5 : 46% 問6 : (1) 9% 部分点 14% (2) A36% B93% C89% D84% E76% 問7 : 17% ③全体 : 44%

地理・歴史・公民いずれの分野についても、基礎・基本の学習事項が身につけているかを試す問題が中心でした。一部、地図やグラフを読み取る問題、論述式の説明問題が出题されました。また、時事問題については、教科書などで学習した内容と結びつけられているかを試す問題もありました。

例年のように、ABCいずれの入試においても、漢字の書き間違いによる失点が多く見られました (例えば、垣武天皇など)。まんべんなくよくできている答案が一定数あった反面、似たような用語の区別がついていないとか (例えば、国際連盟と国際連合の区別など)、時代ごとのできごとが頭の中で整理できていないとか、知識がうろ覚えの状態だとか、準備不足と感ぜられる答案もたまに見られました。論述問題については、設問の要求がつかめていない答案もありました。

基礎・基本事項の徹底を図ること、1行程度の論述問題にも解答できるよう理解を深めることが重要です。